

令和7年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立萩中小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・見学や体験活動を多く取り入れたことで、児童が意欲をもって学習に取り組んでいた。
- ・体験したことや調べて分かったことを、新聞やスライドにまとめ、発表することで、知識の定着や相手を意識した表現力の向上につながった。

(2) 課題

- ・基本的な用語の定着が不十分である。
- ・グラフ等の資料に着目して、読み取りをしたり情報を関連付けて考えたりすることに課題がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	目標値より↓		
第5学年	目標値と同程度	目標値と同程度 (第4学年時)	
第6学年	目標値より↓	目標値より↓ (第5学年時)	目標値より↓ (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・目標値と比較すると下回っており、四方位や地図記号の理解に課題がある。	・目標値と比較すると下回っており、資料の読み取り、活用に課題がある。	・見学や体験活動に関して主体的に取り組んでいる。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・目標値と比較すると下回っており、日本の産業や世界の国々の名称の理解に課題がある。	・目標値と比較すると下回っており、資料の読み取り、活用に課題がある。	・見学や体験活動に関して主体的に取り組んでいる。 ・分からない問題に直面した時の対処の仕方に課題がある。 ・学んだことから考えを広げたり、他者に伝えたりすることに課題がある。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・地図記号や方位などは、その単元だけではなく、1年を通して扱い、他の知識とも関連付けながら定着させる。 ・知識や言葉を文字だけではなく、映像や実物など視覚的な情報を活用し、実感の伴った理解をさせる。	・中学年のうちから写真や簡単な図を見て、分かることを書くことができるような授業づくりをする。 ・新聞づくりやノートまとめなど学んだことをまとめて、他者に伝える学習を行う。伝える相手を意識させ、学んだことを分かりやすく伝えられるよう指導する。	・見学や体験活動を多く取り入れ、生活と結び付けられるようにする。 ・見たり体験したりしたことを言語化できるように児童同士で伝え合う活動を取り入れる。

（2）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・世界の国々の名称や場所などは、その単元だけではなく、1年を通して扱い、他の知識とも関連付けながら定着させる。 ・児童に学んだことの説明をする機会を与え、語句や名称を意味の伴った理解ができるようにする。	・グラフや表などの資料を活用して調べる活動を多く取り入れ、それらの資料から自分の必要な情報を探すことができるようにする。 ・資料から読み取ったことに対してどんなことが言えるのかを話したり確かめたりする時間を設ける。 ・ノートやスライドに学習をまとめ、発表する時間を設け、問題や目標に合わせて適切に表現できるようにする。	・見たり体験したりしたことを言語化できるように児童同士で伝え合う活動を取り入れる。 ・単元の終わりや家庭学習で学習内容について探求する時間を設定し、すすんで考えたり調べたりできるようにする。